

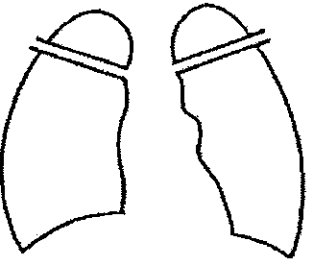
身体障害者診断書・意見書

総括表		(障害用)	
氏名	年 月 日生	男	女
住 所			
①障害名（部位を明記）			
②原因となった 疾病・外傷名		交通事故・労災事故・その他の事故・戦傷 疾病・先天性・その他（ ）	
③疾病・外傷発生年月日		年 月 日 ・ 場所	
④参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）			
		障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日	
⑤総合所見			
		[将来再認定 要・不要] (再認定の時期 年 月)	
⑥その他参考となる合併症状			
上記のとおり診断する。併せて次の意見を付す。 年 月 日			
病院又は診療所の名称 所 在 地 診 療 担 当 科 名		科 医師氏名 印	
身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入） 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ ）級相当 ・該当しない			
注意 1 障害名には現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、歯科医師による診断書及び意見書を添付してください。 3 障害区分や等級決定のため、北海道社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分についてお問い合わせする場合があります。			

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○印で囲むこと。)

- 1 身体計測
身長 cm 体重 kg
- 2 活動能力の程度
(1) 階段を人並みの速さで上れないが、ゆっくりなら上れる。
(2) 階段をゆっくりでも上れないが、途中休みながらなら上れる。
(3) 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。
(4) ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。
(5) 息苦しくて身の回りのこともできない。
- 3 胸部エックス線写真所見（ 年 月 日）
(1) 胸膜癒着 (無・軽度・中等度・高度)
(2) 気腫化 (無・軽度・中等度・高度)
(3) 線維化 (無・軽度・中等度・高度)
(4) 不透明肺 (無・軽度・中等度・高度)
(5) 胸郭変形 (無・軽度・中等度・高度)
(6) 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



- 4 換気機能（ 年 月 日）
(1) 予測肺活量 ml
(2) 1秒量 ml
(3) 予測肺活量1秒率 % (= $\frac{(2)}{(1)} \times 100$)

[(1)及び(3)については、次のノモグラムを使用すること。]

- 5 動脈血ガス（ 年 月 日）
(1) O₂分圧 : Torr (室内気での実測値)
(2) CO₂分圧 : Torr
(3) pH :
(4) 採血から分析までに時間を要した場合 時間 分
(5) 耳朶血を用いた場合：[]

(注) 動脈血の採血及び分析は、安静恒常状態に次に掲げる条件下で行うこと。
・採血時の体位は背臥位であること。
・採血時の吸入ガスは室内気呼吸中のものであること。
なお、O₂分圧については、本人の状況により酸素吸入中の数値しか得られない場合、室内気での推定値、吸入気の酸素濃度及び酸素投与の方法を記入すること。
・採血後、分析を5分～10分以内に速やかに行うこと。

- 6 その他の臨床所見・検査所見

ノモグラムの使い方

- (A)と(C)から、(B)上にBaldwinの予測式による予測肺活量が得られる。
(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。
- (D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。
- (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。

